

## プログラミング こつ学ぶ

岐聖大 児童らがワークショップ



プログラミングに触れる子どもたち  
=岐阜市柳津町高桑西、岐阜聖徳学  
園大羽島キャンパス

プログラミングの本年度  
全国選抜小学生大会県大会  
(岐阜新聞社、岐阜放送、  
岐阜聖徳学園大など主催)  
を秋に控え、応募に向けた  
説明会とワークショップが  
15日、岐阜市柳津町高桑西  
の同大羽島キャンパスで開  
かれた。親子9組22人が作  
品づくりのこつを学んだ。

講師を務めた芳賀高洋・  
同大DX推進センター長は  
「創造力、説明力、プログ  
ラミングでの表現力が重  
要」と指摘。「生活、仕事、  
社会や環境をより良く変え  
るような実用的な作品が求  
められている」と説明した。  
参加者は課題やアイデア  
を考えたり、改善したりす

ることを練習。子ども向け  
のプログラミング言語「ス  
クラッチ」などに熱心に触  
れていた。

昨年にプログラミングロ  
ボットコンテストで準優勝  
した網代小学校(岐阜市)  
6年の神山翔君(11)は「全  
国大会への出場を狙いた  
い」と意気込んだ。

大会のテーマは「みんな  
のみらい」。プログラミン  
グ言語は問わず、未発表の  
作品を個人か4人までのグ  
ループで、大会ホームページ  
の専用フォームから応募  
する。締め切りは10月13日。

(松田尚康)